

3日間で2万9,894人が来場

夏を満喫する地ビールの宴に酔う

一関の夏を締めくくる大イベント「第19回全国地ビールフェスティバルin一関」(同実行委主催)は8月19日～21日、一関文化センター前広場で開かれ、全国から集まった大勢の地ビールファンで終日にぎわいました。

同イベントは、国内最大級の地ビールの祭典。ドイツやベルギーなど海外メーカーに加え、全国の40都道府県から計81社が一関に集結しました。また、地元産の食材をふんだんに使った地元料理やつまみを提供する31社のブースを設置。地ビールの飲み比べ、つまみの食べ比べをしようと、各ブースには長蛇の列ができました。

同日は、一関産の夏秋野菜をPRする「地ビールにあう一関の野菜王決定戦」も実施。参加した18店舗は、地元でとれた新鮮なナス、キュウリ、トマト、ピーマンを生かした創作料理を提供しました。

3日間で訪れた人は2万9,894人で、前回より518人増。飲み干したビールは、1万2,774ℓでした。

友人と訪れた東京都大田区の千田幸恵さん(30)は「人出の多さにびっくり。ビールとおつまみの種類が豊富で、どれも魅力的です」とにっこり。市内末広の藤原理恵さん(42)は「子供や友達と一緒に楽しめるすてきなイベント。毎年欠かさずに参加しています」と話してくれました。



1_ 気心の知れた仲間と飲む地ビールは格別の味。自然と顔がほころぶ / 2_ 前年を上回る2万9,894人の人出を記録。炎天下の中、ほてった体を潤そうと地ビールを求めて列ができた / 3_ 「生粋の地ビールファン」という神奈川県足柄下郡真鶴町の木内康博さんと友人ら / 4、5_ 地元産の食材をふんだんに使ったつまみや創作料理などを提供した

森を育み次世代へつなげ

巖美町の健康の森で一関育樹祭

一関地方育樹祭(一関地方農林業振興協議会主催)は9月10日、巖美町のいちのせき健康の森で行われ、約180人の参加者が植樹や間伐体験などを通じて緑豊かな地域を次世代につないでいくことを願いました。

参加した巖美小、本寺小の児童や金沢、興田の自然愛護少年団員らはブナの苗を記念植樹した後、グループに分かれて杉林で間伐を体験。一関地方森林組合の職員らにのこぎりの使い方や木の切り方などを教えてもらい、作業を行いました。

父が同組合の職員という村上快君(興田小5年)は「お父さんの仕事の大変さが分かりました」と汗を拭っていました。



暑い水上レースが北上川で繰り広げられる

川崎で2年ぶり22回目のEボート大会

北上川流域交流Eボート大会(同実行委主催)は9月11日、北上大橋付近の北上川で開かれ、県内外から参加した52チームが暑い水上レースを繰り広げました。

2年ぶり22回目の開催となる同大会。レースは10人一組で行い、特製の栈橋から北上大橋の下をUターンするまでの約330m区間でタイムを競いました。水面にはパドルの水しぶき上がり、河川敷の観客からは大きな声援が送られました。

クラスメートと出場した細川宙暉君(川崎中3年)は「皆で力を合わせてボートをこぐのが面白い。1位を目指したい」と初めてのレースを楽しんでいました。

一関西消防署で「消防フェスタ」開催

消火や救助などの消防活動を体験する

一関西消防署主催の「消防フェスタ」は9月4日、同署で行われ、一関西消防署長から「1日消防官」に任命された市内の小学生のほか、親子連れなど約500人が消防士の仕事を体験しました。

会場には、はしご車への搭乗、ロープを使った救助活動、ポンプ車からの放水などさまざまな体験ができるブースを設置。消防活動の体験を楽しむ参加者でにぎわいました。

1日消防官に任命され、指令センターの見学や応急手当の練習などを行った菊池優太君(千厩小5年)は「消防士の仕事に興味が湧いてきました」と笑顔で話してくれました。



260年の伝統受け継ぐ市の無形民俗文化財

金沢大名行列が商店街を厳かに練り歩く

金沢大名行列(同実行委主催)は9月11日、花泉町の金沢地区で行われました。内沢集落に祭られていた鎮守八幡宮が焼失し、1757年に遷宮する際、氏子らが大名行列の様式でご神体を守りながら行進したのが行列の始まりと言われています。

ほら貝を先頭に、内沢集落の住民が露払いやっこ、金沢小の児童が鉄砲隊などに扮し、総勢約200人が金沢の商店街を行進。沿道の観客は行列に大きな拍手を送っていました。

阿部文聡さん(61)は「先祖の代から続けてきた地域の誇り。自分たちで絶やしてはいけない」と260年受け継がれてきた伝統行事への思いを話してくれました。

がんに負けない社会の実現目指し

平泉町で5回目のリレー・フォー・ライフ

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016いわて」(公益財団法人日本対がん協会、同実行委主催)は9月10、11の両日、平泉町の観自在王院跡で行われ、43団体、延べ1,600人ががんに負けない社会の実現を願いました。

同イベントは、がん征圧を目指すがん患者と支援者らが、24時間交代で歩きながら勇気と希望を分かち合うチャリティイベント。本市からも大勢の参加者が駆けつけ、励ましのメッセージなどが書かれた横断幕を手を歩きました。

沼倉健実行委員長は「患者にとって皆さんの励ましの言葉がなによりうれしい」と感慨深く話していました。



情感あふれる読み語りに親子で聞き入る

しげちゃん一座ファミリー絵本ライブ

女優の室井滋さん率いる「しげちゃん一座ファミリー絵本ライブ」(同実行委主催)は9月3日、大東町摺沢の大東コミュニティセンターで開かれ、親子連れなど約550人の観客が室井さんと絵本作家の長谷川義史さん、サクソ奏者の岡淳さんによる絵本の読み語り、歌や演奏を楽しみました。

室井さんと長谷川さんはスクリーンに大きく映し出された絵本に合わせて、さまざまな声色を使い分け読み語りをしたほか、岡さんはサクソやフルートで物語を盛り上げました。

奥州市から訪れた金野真帆さん(21)は「室井さんの思いを込めた話し方はすてきで感動しました」と話してくれました。